

わったー町の国際交流!

International Exchange of WATTA Town

観光やビジネスで海外から多くの人々が訪れ、ますます国際化が進む沖縄県。グローバルな人材育成や国際協力を目的とした各市町村の取り組みをご紹介します。

北谷町
CHATAN



陽気な雰囲気と異国情緒あふれる町で育まれる国際交流

沖縄本島中部に位置する北谷町は、西海岸沿いにホテルや商業施設が立ち並びリゾートタウン。米軍基地を抱えることから外国人も多く、インターナショナルな雰囲気が漂っています。

北谷町は人材育成を目的とした国際交流が盛んで、小学校でのICTを活用した海外の学校との交流、中学生の英国派遣と受け入れ、中高生のハワイ短期留学派遣、さらに海外に移住した北谷出身子弟の研修受け入れなどが行われています。また、地元における国際交流も活発で、毎年1月には「新春!国際交流 餅つき祭り」を開催。「うちなあ家」と名付けられた築100年余の家屋が建つ庭を会場に、地域の人々と外国人が臼と杵を使って協力しながら餅つきを楽しみます。餅つき以外にも独特な沖縄文化のレクチャーや、しまくとぅばや日本語、英語を交えた芝居なども披露され、文化交流を楽しみ餅を味わいながら新年を祝います。



餅つき

北谷町の国際交流活動

沖縄文化で国際交流

2012年にスタートした北谷町子ども会育成連絡協議会主催の「新春!国際交流 餅つき祭り」。しまくとぅばや琉球王朝時代から伝わる「御水撫でい(うびなでい)」の儀式などを取り入れた独自のイベントは沖縄の文化を学びたいという外国人に大人気。会場では3言語を交えた賑やかな国際交流が行われます。



1子どもたちの健康を願い行われる琉球王朝時代から伝わる年始の儀式「御水撫でい」
2「御水撫でい」に使われる聖水 3世界平和・無病息災など、みんなで「御願」を捧げる



沖縄らしい風景を語り・考えるシンポジウムを開催します



名護市民の心の拠り所となっているひんぶんガジュマル

沖縄らしい風景とは

沖縄は先の大戦により、琉球文化が育んだ独特の生活の姿である原風景を失いました。

そして今、地域の経済面・生活面からさまざまな風景を取り戻し、創造し、「沖縄らしい風景づくり」を目指しています。

亜熱帯海洋性の自然風土と島しょという立地特性のもとに花開いた琉球王朝時代から、戦後復興を経て現在に至るまでの風景の変遷において、沖縄を訪れる人々が魅力的だと感じる風景の保全と創造、住む人が誇る機能的で美しいまちなみを求める声があがってきています。

風土、風俗、地理的文化的特性の上に成り立つ「沖縄らしい風景」を保持しつづけるためには、

県民ひとりひとりの風景への配慮や郷土愛が重要となってきます

沖縄県では、「沖縄らしさ」を次代へ継承すべく
沖縄らしい景観まちなみづくりシンポジウムを開催します。

シンポジウム
を開催します

風景が紡ぐ沖縄の文化 ~過去とイマと未来~

日時 平成29年1月31日(火) 13:30 会場 沖縄県立博物館・美術館 3階講堂 **入場無料(要申込)**

第一部では、琉球大学観光産業科学部の波多野想准教授による基調講演「沖縄地域の文化的景観の歴史の変容(仮)」、第二部では事前に募った意見をもとに視覚効果でみせる「景観大実験」を行います。第三部のパネルディスカッションにおいては、マルチタレントの信ちゃんこと津波信一さんをはじめバラエティに富んだパネラーと、沖縄における景観づくりの第一人者である池田孝之琉球大学名誉教授をコーディネーターにむかえ、来場者とともに沖縄らしい風景について熱く楽しく語り合います。

第一部 基調講演「沖縄地域の文化的景観の歴史の変容(仮)」

琉球大学観光産業科学部 波多野 想准教授

第二部 「景観大実験」

第三部 パネルディスカッション

コーディネーター
池田 孝之(琉球大学 名誉教授)

パネラー
津波 信一(タレント from 南部/南城市)
比嘉 淳子(作家/脚本家 from 那覇/首里)
又吉 演(今帰仁村観光協会 事務局長 from 北部/今帰仁村)
納戸 義彦(NPO法人「島の風」代表 from 離島/伊是名島)
金城 諭(コザフィルムオフィス from 中部/沖縄市)



城下町としての風情を再構築している龍潭通り

詳細はこちらでも
ご覧になれます

風景結々(ふうけいゆいゆい)
~沖縄らしい風景づくりポータルサイト~

<http://www.fukei-okinawa.jp/>

お問い合わせ

県都市計画・モノレール課 電話: 098-866-2408 FAX: 098-866-5938